

ご挨拶

観一高同窓会京阪神支部 会長 観一・22回 小山 正辰

(昭和46年卒)



人口減少社会が到来しています。

「産めよ増やせよ」の戦前親世代が育った時代、

「ベビーブーム」の昭和20年代前半の先輩方。

ずっと下って「第2次ベビーブーム」というのもありました。「丙午（ひのえうま）19

66（世代）で少なくなりましたが、私どもの学生・社会人前半は、おおむね「高度経済成長期（S29 - 48）」およびその余波で「Japan as No.1」に向かう時を過ごしました。

「オイルショック」「バブル崩壊」「リーマンショック」「デフレスパイラル」など「マイナス成長の時代」も経て、日本社会の生活も大きく変容し、当然若者の意識も変化しています。

母校観音寺第一高等学校も、「少子化」の中、1学年6学級程度となっております。京阪神支部を構成する「観一卒業生の数」も年々減少し、若者の「東京志向」で支部存続の形も語り合われることが多くなってきました。

近年は巷間「Z世代」という言葉もよく聞かれます。Z世代の前に、XやY世代があり、Zの次はαだそうです。X世代は1960年代後半から1970年代後半、40代以降の方々らしいです。アナログからデジタルへの移行期

であり、対応されてきました。

Y世代は1980年代前半から1995年まで？ 20代から30代の方々。スマホやPC、タブレットの扱いも手馴れておられ、ミレニアルやゆとり世代と呼ばれることもあるとか。

Z世代は、1990年代後半から2010年代前半、現在の10代から20代前半の方を指すようです。この層の方は、デジタルネイティブであり、「東日本大震災」の「津波」「原発」を直接間接に体験し、社会問題への関心も高く、命の大切さを実感できるゆえに「自分らしさ・自己表現」を大切にされるようです。私も、大学や空手道を通してこの世代の方と接する機会も多く、彼・彼女たちの「精神の気高さ」に瞠目しています。

X世代の前の、私たち1950年代やそれ以前の世代の人を「V世代」「W世代」ということにして、V+W+X+Y+Zで何かできるかもしれません。

同窓会は、「コスパ（コストパフォーマンス）」「タイパ（タイムパフォーマンス）」ともに集う人がつくりあげることが出来ます。「モノよりコト」という価値・時間を体感、体現できる場所なのではないか、と感じています。

発信力、影響力、拡散力のある若い力もお借りして、刺激しあえる集合体へのチャレンジで、会員減少社会を乗り切りましょう。